

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年4月13日(2017.4.13)

【公開番号】特開2016-129659(P2016-129659A)

【公開日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-043

【出願番号】特願2015-184763(P2015-184763)

【国際特許分類】

A 6 1 B 8/13 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 8/13

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月7日(2017.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

測定光を被検体に向けて出射させる光出射部と、

前記測定光の照射を受けた被検体の部分から発せられた音響波を検出する音響波検出素子と、

使用時に被検体に向けられる表面を有し、内部に前記光出射部および前記音響波検出素子を収容した筐体とを有する光音響計測用プローブにおいて、

前記光出射部と前記音響波検出素子との間に、前記筐体の一部が存在し、

前記一部の筐体の表面から筐体内部に向かって延びる、前記表面に開口したスリットを少なくとも1つ有することを特徴とする光音響計測用プローブ。

【請求項2】

前記光出射部と前記音響波検出素子との並び方向と直交する方向に関して、前記スリットの両端部がそれぞれ、前記音響波検出素子の両端部よりも外側に位置している請求項1記載の光音響計測用プローブ。

【請求項3】

前記音響波検出素子を間に置いて、該音響波検出素子の両側に各々前記光出射部が少なくとも1つ配設されている請求項1または2記載の光音響計測用プローブ。

【請求項4】

前記音響波検出素子の両側に配設された光出射部の一方と該音響波検出素子との間に有る前記スリットと、前記音響波検出素子の両側に配設された光出射部の他方と該音響波検出素子との間に有る前記スリットとが、互いに一端部どうし、他端部どうしで別のスリットにより繋げられて、前記音響波検出素子がスリットにより囲まれている請求項3記載の光音響計測用プローブ。

【請求項5】

請求項1から4いずれか1項記載の光音響計測用プローブと、

測定光を出力する光源と、

前記測定光を前記光音響計測用プローブの光出射部へ光学的に接続する接続部とを備えてなるプローブユニット。

【請求項6】

請求項1から4いずれか1項記載の光音響計測用プローブと、

前記光音響計測用プローブが出力する光音響波検出信号に基づいて光音響画像を生成する信号処理部とを備えてなる光音響計測装置。